

ボランティア・ビューロー窓口には、まだまだ多くのボランティア情報を用意しています！ お気軽に足を運んでください。

## 過疎地の活動 (南三陸) 成果報告会

8月～9月に2期にわたり、30名の学生が宮城県南三陸町にて農業体験と民泊をしました。人口流出により、地域活動や農業の担い手不足といった現地の課題にどう向き合うか対策を考え、4つのテーマに分かれてポスターを作成し、その報告会を10月24日(火)と26日(木)に行いました。ポスターは11号館1階の掲示板にも展示予定です。ぜひご覧ください。

### ◆4つの発表テーマと内容 (抜粋)

#### テーマ① 「農業の担い手不足」

・ 農業に対する無関心や無知からくるのではないかと。学生のうちに今回のようなプログラムを通じて農業に触れる機会をつくるのが有効ではないか。

#### テーマ② 「過疎地の魅力の発信」

・ 大学などの教育機関が情報発信する事で、学生を中心とした多くの人材が集めやすく、1回だけの活動で終わるのではなく、中長期に渡り、活動を行える。宿泊時にもその土地の事を十分に味わえる民泊の特性を生かし、気軽に訪れることができるツアー (1泊2日) を組むことで、過疎地は遠くはないという親近感を抱いてもらえる。

#### テーマ③ 復興・被災地としての南三陸の人たちのニーズ」

・ どんなに素晴らしい場所でも現地に赴かなくては魅力は伝わらない。そのために動く企業が自治体が支援することが求められているのではないかと。

#### テーマ④ 「南三陸の課題・魅力とその発信」

・ 温かい人々に囲まれ、自分が必要とされている事を感じることができる都会にはない密なコミュニティの良さを感じ、自分らしく生きていける事が魅力である。



↑ 報告会の様子



↑ 発表ポスター (過疎地の魅力の発信)

## 飯館中学校のみなさんが上智大学を訪問しました！



8月に本学学生が現地を訪れて交流をした飯館中学校の生徒の中から10名の3年生と、教育委員会の方を含む引率の先生方が、10月21日(土)に本学を訪れました。

あいにくの雨の中の訪問となりましたが、キャンパスツアー、理工学部物質生命理工学科・神澤 信行先生 (学生センター長) による『大学の生物学』をテーマにした体験授業や、紙粘土を使った創作活動 (「ソフィアくんを作ろう」)、昼食会など、様々な形での交流が行われました。閉会の際には、大学生が事前に練習してきた飯館村の村歌を歌ってみなさんをお見送りしました。久しぶりの再会に、別れが惜しまれるあつという間の日程でしたが、和気藹々とした雰囲気でも今年度の交流活動を締めくくることができました。



↑ キャンパスツアーにて、6号館1階の展示ブースに興味深い様子です。



↑ 中学生のみなさんは図書館の蔵書数の多さに驚いていました。



↑ 体験授業の様子。オジギソウはなぜお辞儀をするのでしょうか？



↑ それぞれが立てた仮説をグループで検討。中学生の柔軟なアイデアに、大学生や教職員も驚くことが多かったです。



↑ 創作活動では、モデルにソフィアくんが登場。「かっこよく作ってね」とアピールしているようです。



↑ わずか30分の制作時間で、なかなかの力作が出来上がりました。

## 防災WEEK 2017

今年で3回目となる防災WEEKが10月16日(月)～20日(金)に行なわれました。この企画は、東北・熊本復興支援を行なっている課外活動団体ソフィアボランティアネットワーク (SVN) が、震災の風化防止と防災の意識を高めるために行なっており、ボランティア・ビューローが共催しています。



あいにくの悪天候の中、今年初の試みとなるVRによる災害時の体験企画には、120名を超える学生・教職員が参加し、火災発生時、建物から安全に脱出を試みる迫力のあるVR体験を提供しました。

起震車体験では、震度7を体験し、想像を超える揺れの恐さを感じることができたとの感想がありました。煙体験では、煙の中ではどのように方向感覚が無くなるのか体験をすることができ、留学生の参加も目立ちました。

18日(水)に行なわれた講演会「女性の視点から見る防災」では、一般社団法人防災教育指導協会代表理事 小幡嘉代様より、避難時に実際に起きた女性の困り事などを中心に講演いただき、防災とは備蓄のみでなく知識を備える事も必要という認識が高まりました。後半は、避難時に起こりうる問題を想定し、参加者全員で意見交換会を行いました。

これらの企画を通して、本学学生が防災活動を生活の一部として定着させて欲しいと願います。12月には災害救援ボランティア養成講座を行います。詳しくはLoyola掲示板、ボランティア・ビューローTwitter, 上智大学公式Line@でお知らせします。

### ◆参加大学生の感想



総合グローバル学科2年 塚本 遼さん

8月に参加した学習支援ではかなり密に飯館中学の学生と関わったので、今回の再会はとても嬉しかったです。学内ツアー等での交流中には、大学生生活について沢山質問してくれた生徒さんもいました。一連の交流で大学生と中学生がお互いの背景を知り、学び合えたのではないかと思います。



フランス語学科2年 江里口 路乃さん

私たちが訪問してくれた中学生は、緊張のせいか最初は口数が少なかったのですが、校内ツアーや紙粘土の交流を通じて慣れてくれました。飯館村にいた時が思い出され、とても懐かしかったです。来年も参加したいと強く思わせてくれました。